

6

# ピンキージョーンズの22

父 スクリーンヒーロー

牡 栗毛 2022年2月5日生 ビッグレッドファーム生産



関東入厩予定

総額1,600万円 | 10分の1(160万円)より

Colt February 5, 2022 by Screen Hero ex Pinky Jones



スクリーンヒーロー 栗 2004	*グラスワンダー Grass Wonder 栗 1995	Silver Hawk	Roberto
		Ameriflora	Gris Vitesse
ランニングヒロイン 鹿 1993		*サンデーサイレンス	Danzig
		ダイナクトレス	Graceful Touch
ピンキージョーンズ 栗 2014	*アイルハヴァナザー I'll Have Another 栗 2009	Flower Alley	Halo
		Arch's Gal Edith	Wishing Well
		マーベラスサンデー	*ノーザンテースト
		アロングフローラ	モデルSPORT
			Distorted Humor
			*プリンセスオリビア
	スーパーウーマン 栗 2005	Arch	Force Five Gal
		*サンデーサイレンス	モミジダンサー
		*アロングオール	ヒガシアトム

\*サンデーサイレンス 3S×4D, Halo to Reason 5S×5S, Northern Dancer 5S×5S

## ■血統と特長

父スクリーンヒーローは、種牡馬入り当初はそこまで良質な繁殖牝馬に恵まれてはいなかったにもかかわらず、モーリスを始め、多くの活躍馬を送り出しました。昨年の菊花賞ではボルドーフーシュが2着に入るなど、近年もその勢いはとどまりません。本馬は、父の産駒らしい柔軟性があり、そのうえ運動神経も兼ね備えています。母は中央競馬のダートで3勝しましたが、本馬は芝のスピードにも十分対応できます。またロスの少ない走りが可能な体型をしていますので、最後の直線でも容易にはバテないと思います。これらの要素から芝の中距離戦を得意とする競走馬になるでしょう。

## ■父スクリーンヒーロー

スクリーンヒーローは日本産、5勝、ジャパンC-G1。主な産駒:モーリス(天皇賞・秋-G1)、ゴールドアクター(有馬記念-G1)、ウインマリリン(香港ヴァーズ-G1)、ジエネラレーウーノ(セントライト記念-G2)、アートハウス(ローズS-G2)、クールキャット(フローラS-G2)、マイネルグリット(小倉2歳S-G3)、トラスト(札幌2歳S-G3)。

## ■母系

- 母** ピンキージョーンズ(14 \*アイルハヴァナザー) 3勝。本馬が初仔
- 祖母** スーパーウーマン(05 マーベラスサンデー) 3勝, 佐渡金銀山特別。産駒 スーパースナッツ(牝 \*ロージズインメイ) 入着, 南関東(公)6勝, 高知(公)7勝, 佐賀(公)7勝, 佐賀がばいダッシュ, ウインターチャンピオン2着, 九州クラウン3着, 同4着, 北海道(公)入着, ノースクイーンC 5着, ◎ アイメイドイット(牝 \*アイルハヴァナザー) 1勝, 高知(公)8勝, 佐賀(公)1勝, 吉野ヶ里記念3着, 佐賀がばいダッシュ4着, 石川(公)1勝, お松の方賞5着, 東海(公)2勝, ◎
- コスモプロテア(牡 ジャングルポケット) 1勝
- マイネルキング(騾 ゴールドシップ) 1勝, ◎
- マイネルエピキュア(牡 \*アイルハヴァナザー) 高知(公)7勝
- 曾祖母** アロングフローラ(92 \*アロングオール) 南関東(公)4勝。産駒 コンコルドフライト: 入着, 南関東(公)5勝
- 四代母** ヒガシアトム(81 \*ダイアトム) 不出走。産駒 トウホーカーラー: 6勝, 東風S。産駒 ホリーゴースト: 2勝, 雪割草特別
- 五代母** 第参ヒガシヒメ(競トウカニシキ(67トサミドリ) 入着。産駒 トウホープリンス: 8勝, 迎春賞, 道新杯, 岩手(公)5勝
- ハードミドリ: 1勝。産駒
- トウホーダイヤ: 1勝。 **デンコウアンジュ**(アルテミスS-G3, ヴィクトリアマイル-G1 2着), **サングラス**(パレンタインS-OP, すばるS-L 3着)の曾祖母
- エントリーローズ: 不出走。産駒
- ミスイメージ: 不出走。 **メイショウヒサカタ**(昇竜S-OP)の曾祖母